

岩倉市タウンミーティング（五条町）会議録

日時：平成28年2月13日（土）
午後7時～午後8時30分
場所：五条町公会堂

出席者 五条町・・・栗原区長はじめ11人
岩倉市・・・市長、副市長、建設部長、都市整備課長、協働推進課長、
広報情報グループ長

1 あいさつ

栗原五条町区長
片岡市長

2 懇談（要旨）

テーマ「曾野団地について」

【質問】 昨年10月に国（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）と話し合いの場があったが一方的な説明しかなかった。市としての援助は何かないか。

【回答】 雇用促進住宅は国の管轄である。国からは平成24年に取得について話があったが、岩倉市として取得するだけの体力が無い。愛知県内の市で取得したところはない。国の行ってきた事業の肩代わりを市でするわけにはいかないと回答している。

現時点ではそれ以上のことは国から話は無い。市として買うつもりは無い。

【質問】 市が取得する際に国からの補助は無いのか。

【回答】 譲渡する際の条件として評価額を1/2にするだとか、空き部屋は修繕してから引き渡すなどはあるが、お金の補助は無い。

【質問】 もし退去を命じられたときは市営住宅に優先的に入居できるのか。

【回答】 昨年は雇用促進住宅の人で2名の方を選考し、1名の方が市営住宅に入居された。もう1名は高層階の部屋のため辞退された。市営住宅の入居者決定にあたっては、困窮度合いの高い人から入居できることにしているが、空き部屋の絶対数が足りない。

【質問】 市営住宅を増設する予定はないのか。

【回答】 増設する予定は無い。現在1棟修繕は実施している。

【質問】 県営住宅のあっせんはないのか。空き状況はどうか。

【回答】 雇用促進住宅は戸数も多く大きな問題だと認識している。県営住宅やURについては相談窓口を設置してもらったり、紹介したり、そういったお手伝いは市としてやらなくてはいけないと思っている。

八剣町の県営住宅は空き無し。鈴井町の県営住宅も1部屋しかない状態。市営住宅もほぼ同様の状態であり、UR岩倉団地は126戸あるが、家賃はいろいろであり、条件に合うかどうかというところ。

【質問】 江南の県営住宅はどうか。

【回答】 愛知県の窓口は同じなので県営住宅であれば情報は入るはずである。

【質問】 岩倉市内に空き家は518件あると聞いた。しかし家賃が高いようである。曾野団地に住んでいるのは高齢者ばかり。

【回答】 市で把握している限りでは現在、五条町は176世帯となっている。

【意見】 自治会で把握しているのは190世帯ほど。2戸借りの世帯もあるのでズレがある。

【質問】 岩倉市の財政状況は。

【回答】 税収は昨年と比較して少し上向いている。財政力指数は0.79で愛知県内の市では下から5番目である。

【質問】 岩倉市は税金が高いと思う。

【回答】 市民税は全国一律であり、岩倉だけが低いということは無い。国民健康保険税や固定資産税は自治体により異なる。岩倉は企業が少ないので、法人市民税には期待できない。愛知県内は財政力指数が1を超えるところが多い。企業が進出したところはけっこうゆとりがある。とはいえ、岩倉市の財政力は全国700市のうち200番台であり、札幌市よりも少し良いくらいのところである。上から1/3のところに入っており、財政破綻などの心配はない。

岩倉は景気に左右されにくく安定している。その代わり好景気のときも恩恵は少ないが。企業から予定納税を受けている市町村などは、企業の業績が悪い場合は利息をつけて変換しなければならないのでたいへんである。個人市民税はそういった変動が少ない。

【質問】 曾野団地を市が国から借りるという考えはないのか。
【回答】 国は貸す気はなく、廃止又は譲渡する考え。独立行政法人の整理を考えている。

【質問】 自治体がいち取っている例も実際にあると聞いているが。
【回答】 全国で 1,200 件くらいが対象となっているが、そのうち 100 件程度は自治体が譲渡を受けている。

【質問】 話がまとまらず更地になったところもあるのか。
【回答】 そういうところもあると思う。
【質問】 そこに住んでいた人はどうなったのか。
【回答】 国がその人たちの住居をあっせんしたという話は聞いていない。譲渡を受けるかどうかは物件と自治体の状況にもよる。東海地方では譲渡を受けた自治体は無い。東北地方には多いようだ。地方により住宅事情にかなり違いがある。このあたりは UR などもたくさんある。

【質問】 ここが無くなれば五条町という区も無くなる。個人ではどうにもならない。
【回答】 相談できる体制は作らないといけないと思っている。窓口だったり仲介であったり。ただし、家賃を補助するという話ではない。そこに税金を投入することは公平性の面から難しいと考える。

【質問】 高齢なので今さら県外までは引っ越したくない。近隣に住みたい。
【回答】 UR などに話はしていきたい。ただしエレベーターの無い物件も多い。

【質問】 国からの説明は一方的で、こちらのお話を聞いてくれない。不安である。
【回答】 国は平成 28～29 年度で民間に対し売却を検討しているが、条件的に買い手がつくかどうかはかなり疑問である。しかし、その結果が出るまでは廃止と決まったわけではないので、それまで廃止する場合の条件提示などは行われないと考えたほうがよい。全国に渡る話なので、何の話し合いも無く強制的に進めるということはないと思う。

その他

【質問】 北島藤島線の完成時期はいつか。
【回答】 平成 28 年度完成の予定で進めているが、一部平成 29 年度に繰り

越す部分があるかもしれない。完成すれば東西交通がかなりスムーズになり利便性が向上する。

【質問】 川井町に企業が進出すると聞いているがどのような状況か。

【回答】 川井町周辺は工業ゾーンという構想になっているが、農業振興地域でもあり工場誘致の方法を検討中である。県の企業庁にも相談している。地主がまとまるかどうか重要である。個別に企業が進出する可能性もある。

【質問】 徳重の高架に伴い大山寺駅が廃止になるという話は本当か。

【回答】 名鉄から市に対しそういった話は一切ない。乗降客数が極端に減れば別であるが、今後小牧からの利用者も増える。ただし、一番南の小さい踏切が無くなるという話は来ている。

徳重の高架化は時期としてはだいぶ先になる。10年ではできない。布袋周辺の高架化には200億円くらいの事業費がかかっている。その費用を市と国が持たなくてはならない。跨線橋は十数億円くらいで済む。高架化するとまちの一体化が進むというが、高架下は結局名鉄の土地なので活用しづらい。

【質問】 デマンド交通の利用者はどのようになっているか。

【回答】 登録者数は1,700人。8人乗り2台を運用している。午前中に病院へ行くために利用する人が多い。

【質問】 車両を増やす予定はないのか。乗合の都合で近いところでも時間がたくさんかかったりする。

【回答】 30分で1運行という設定。乗合で運用する以上はある程度は仕方がないと考えている。岩倉市というまちの特性上、乗合率を高める使い方が難しい。

【質問】 利用するためには予約が必要なのか。

【回答】 30分前までに電話で予約していただく。まずは登録が必要。登録手続きは市役所5階の協働推進課で担当している。

【質問】 行きは良いが帰りは時間が読めないので利用しにくい。

【回答】 現在2台で運用しているが、適正な台数が何台かというのを判断するのは難しいところである。北名古屋市や小牧市のようなルートバスにすることも停留所の設置や距離などで問題が多い。岩倉市にはデマンドが合っていると思う。使いやすいように改良していくための研究はしていきたい。

【質問】 夫がデイケアセンターを利用している。髪や髭を整えるのに個人的

に理容師さんと呼ばなくてはいけない。床屋が休みの日にデイケアセンターに派遣してもらうような仕組みができないか。

【回答】 理容組合にそういったことができるかどうか相談してみる。

【質問】 通学路になっている第七児童館横の道路について、水路を塞ぐなどして広くできないか。警察にも要望しているが、車が多くスピードを出すので危ない。時間帯指定の交通規制をお願いしたい。

【回答】 北島藤島線が完成すると交通の流れにも変化が出るのではないか。また、水路の暗渠化については拡幅を理由とするには難しく、また費用もかなりかかる。拡幅することで車がよりスピードを出せるようになってしまうことも考えなければならない。規制をすることで考えていくべき。どういうやり方ができるかは警察とも相談する。

【質問】 マイナンバーの利点が不明である。

【回答】 現時点では利用できることがあまりないので利点を感じにくいですが、今後、いろんな場所で利用できるようになると便利になってくる。行政のいろんなコストがカットできる。税の公平性も保ちやすくなる。カードは今なら無料で交付される。身分証明書になるもの。

安全性についてはもちろんきちんと管理していく。個人でも厳重に管理しなくてはならないが、過剰でもいけない。カードを落としたら危険なのはキャッシュカードでも同じことである。リスクはゼロにはならない。

市の内部でのマイナンバー融通ができないのは難点。複数の窓口でマイナンバーを提示しなくてはならない。将来的には利用できるようになっていくと思う。

マイナンバーについては便乗した詐欺行為が横行している。注意していただきたい。

【質問】 被爆者健康手帳を保有している人は市内に何人いるのか。

【回答】 調べて回答する。

副市長あいさつ

午後8時30分終了